

FAX (富山宅建協会) 076-491-4536

## 宅建協会会員アンケート

- ※ 本協会会員代表者、もしくは会員企業の経営に直接関与する方がお答えください。
- ※ 平成30年度10月現在の状況をお答えください。
- ※ 本・支店登録のある会員の方は、  
本県内に本社が所在する場合は、富山県内の全支店分を一括してアンケートにお答えください。  
本県外に本社が所在する場合は、県内の支店別にアンケートにお答えください。
- ※ このアンケート内での「不動産業」とは、不動産の売買・仲介、賃貸、賃貸の仲介・管理等を意味するものとします。

### ★ 貴社の企業規模・業務内容についてお尋ねします。

- Q. 1 代表者を含む従業員数は何名ですか？（不動産部門以外の社員、また週30時間以上勤務のパート、派遣社員を含む）（チェック☑は1つ）
- |                                |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1～3名  | <input type="checkbox"/> 4～6名  | <input type="checkbox"/> 7～10名 |
| <input type="checkbox"/> 10名以上 | <input type="checkbox"/> 30名以上 | <input type="checkbox"/> 50名以上 |
- Q. 2 貴社の収益についてお尋ねします。（チェック☑は1つ）
- 概ね75%以上は、不動産業で収益を得ている
  - 約半分程度が不動産業の収益で、残りは不動産業以外での収益が占めている。
  - 概ね75%以上は不動産業以外での収益で、不動産業の収益は全体の概ね25%以下である。
- Q. 3 前問の不動産業務の収益は、次のうちのどの業務に関する収益ですか？（チェック☑は1つ）
- 主として不動産の売買・仲介のみ
  - 不動産の売買・仲介の収益と賃貸の仲介・管理等の収益
  - 主として不動産の賃貸の仲介・管理等で収益
  - ほとんど不動産業での収益はない
- Q. 4 不動産業務の収益のなかで、収益の柱としているものは。（チェック☑は3つ以内）
- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 建売、マンション分譲、土地分譲 | <input type="checkbox"/> 土地・建物の買取・再販 |
| <input type="checkbox"/> 土地・建物の売買の仲介     | <input type="checkbox"/> 土地・建物の賃貸の仲介 |
| <input type="checkbox"/> 建物賃貸の管理         | <input type="checkbox"/> 賃貸の貸主       |

### ★ これから概ね10年後の貴社の将来像についてお尋ねします。

- Q. 5 貴社の不動産業の継続について（チェック☑は1つ）
- 現状の組織を維持拡大し、不動産業の収益拡大に向け、意欲的に取り組む予定である。
  - 不動産業の継続には不安があり、何か変えていかなければならないと考えている。
  - 特に変革を考えてはいないが、現状のまま10年後も続けられれば良いと思っている。
  - 景気動向を見極めながら、不動産業の廃業も念頭に置いている。
  - 概ね5年以内に不動産業は廃業するかもしれないと思っている。
- Q. 6 組織的な観点から貴社の継続について（チェック☑は1つ）
- 会社組織が確立している、又は事業継承者がおり、今後も継続して経営を続けられる。
  - 事業継承者に承継中であるが、このまま経営が続けられるか不安がある。
  - 経営を継続するために事業継承者を探しているが、見つけれない状態である。
  - 事業継承者がいれば経営を継続するが、見つけれない場合は廃業しても良いと考えている。
  - 高齢や健康上の理由で、自分が動けなくなったら廃業する見込みである。

★ 宅建協会の将来像についてお尋ねします。

Q. 7 今後、宅建協会が会員に対してあるべき姿、行動すべき活動として、最もふさわしいと思うものを5つ選ぶとしたら次のうちどれでしょうか。(チェック☑は5つ以内)

- 不動産取引に関する専門家としての不動産業務・専門知識に関する研修の更なる充実
- 業態別、会員規模別など会員の経営実態に応じた研修の充実
- 不動産業の経営手法など、個々の企業の経営品質の向上を目指す研修の充実
- 従業員個々の資質の向上を目指す個人向け研修の充実
- 不動産関連の規制緩和や行政手続き改善等の要望、提言活動
- 事業継承を促進するための研究と研修の充実
- 災害時における会員支援を充実する危機管理の研究と活動
- 50才以下の会員のコミュニケーションの醸成を図るための青年部の結成や既存組織の活動拡充
- 女性会員のコミュニケーションの醸成を図るための女性部の結成や既存組織の活動拡充
- 会員や従業員の健康促進活動
- 会員同士のコミュニケーションの充実を図るための親睦活動
- 共同経営や企業統合を図る研究と推進
- 地域の空家や空地の有効利用や再利用について提言や指導活動

Q. 8 宅建協会が地域住民に対してあるべき姿、行動すべき活動として最もふさわしいと思うものを3つ選ぶとしたら次のうちどれでしょうか。(チェック☑は3つ以内)

- 地域の美化運動や環境活動など、地域住民への支援、奉仕活動
- 地域住民の文化・芸術・教育活動への支援、奉仕活動
- 無料相談や不動産取引のトラブル等を回避するための専門家としての相談活動
- 外国人に対する賃貸契約や日本の住宅の使い方などの啓蒙、相談活動
- 災害時に住民支援ができる体制の強化、危機管理活動
- 県内出身者が県外大学の卒業後に地元企業に戻って就職するための促進活動の支援
- 少子化、晩婚化を抑止するための婚活支援活動
- 地域住民に対する奉仕、支援などは不要だと思う。

Q. 9 宅建協会が行政等に対してあるべき姿、行動すべき活動として最もふさわしいと思うものを3つ選ぶとしたら次のうちどれでしょうか。(チェック☑は3つ以内)

- 空家・IUターンなどの行政が主導して促進する活動への積極的協力
- 行政が組織する都市計画や街づくりに関する審議会や協議会への積極的参加
- 不動産関連の規制緩和や行政手続き改善等を促進する要望、提言活動
- 空家、空地対策など住環境等を充実させるための提言、要望活動
- 県内への移住者を増やすためのI・Uターンなど人口減少対策を促進する活動
- 行政に対する提言や協力などは不要だと思う。

Q. 10 その他、宅建協会に対する要望事項がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ありがとうございました。